

外来診療における問診へのご協力をお願いします！



外来では、初めて受診する患者さんに問診票をご記入いただきます。また、それを基に看護師が、より詳細に状況を伺い、診療に役立てています。問診は以下のような点で、とても役立ちます。

患者さんの症状から、どのような病気が疑われ、どんな検査が必要か？などの予測をつけることができ、医師の指示のもと、検査から診察までのご案内をスムーズに行なうことができます。

例えば・症状出現時間から、早急な検査と治療が必要である事が解ります。
・ペースメーカーや除細動器等の体内金属により、MRI 検査は不可と解ります。

問診における質問事項

1. どのような症状ですか？
頭痛、めまい、吐き気など
2. 何頃から症状がありますか？
日時、場所など
3. 現在内服や使用しているお薬は？
4. 今までに罹った病気や手術について
5. アレルギーの有無について
(薬・消毒剤・絆創膏類・食物)
6. 体内金属の有無について
(ペースメーカー・除細動器・シャントバルブ・人工関節など)
7. 生活習慣に関する事(喫煙・飲酒)
8. 感染症の有無について(発熱・嘔吐など)



<更にお尋ねすること>

(例)

1. 頭痛で受診
→ 痛い場所・痛みの種類・痛みの程度・嘔気の有無・発熱の有無、肩や首のこりや痛みの有無・鎮痛剤の服用の有無と効果
物忘れや麻痺を伴う場合は、頭部打撲の既往の有無
2. めまいで受診
→ めまいがおこる状況(体勢) 嘔気の有無, めまいの種類(回転性・浮動性) 耳鳴りを伴うか

*問診中は、患者さんの状態(表情・顔色・喋り方・手足の動きなど)も観察致します。患者さんご本人がわからない場合は、状況がわかるご家族の方からもお話しを伺います。ご協力を宜しくお願いします。

